

高等学校 令和5年度（1学年用）教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科：地理歴史 科目：歴史総合

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～H組

使用教科書：（『明解 歴史総合』（帝国書院））

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】地理・歴史の概要を理解し、情報を整理し適切に調べる力を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】学習した地理・歴史的事象を多面的・多角的に考察し、自己の意見を踏まえて表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】学習した地理・歴史的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に取り組む態度を養う。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、多面的・多角的に考察する。	我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>単元 歴史と私たち</p> <p>【知識及び技能】 近代化に関わる史資料を読み解く技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を統合し、近代化を読み解く問いを表現している。</p>	<p>・問い 私たちの身近にあるものには、どのような歴史や世界との結び付きがあるのだろうか。</p>	<p>【知識・技能】 身の回りの事象と世界の歴史がつながっていることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 身の回りの事象と世界の歴史とのつながりについて考察し、自分の考えを表現している。</p>	○	○		4
<p>単元 江戸時代の日本と結び付く世界</p> <p>【知識及び技能】 18世紀における清を中心としたアジアの国際秩序やヨーロッパ諸国との交易について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 銀の動きに着目し、清と近隣諸国、ヨーロッパ諸国との交易の特徴について考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 大西洋三角貿易がアフリカとアメリカに残した課題について考察し、表現している。</p>	<p>・問い 18世紀の日本やアジア、ヨーロッパは、それぞれどのように結び付いていたのだろうか。</p> <p>・指導事項 ①アジアの中の江戸幕府 ②成熟する江戸社会 ③清の繁栄と結び付く東アジア ④アジア・アメリカに向かうヨーロッパ</p> <p>・一人1 台端末の活用、史資料の読解等</p>	<p>【知識・技能】 18世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と、日本への影響について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、自分の言葉で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 18世紀の交易と現代の貿易との違いについて考察し、その変化の要因を追究しようとしている。</p>	○	○	○	7
定期考査			○	○		1
<p>単元 欧米諸国における近代化</p> <p>【知識及び技能】 産業革命の進捗と、その結果確立した資本主義による社会の変化について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 産業革命による社会の変化に着目し、現代につながるような問題が生じたかを考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 様々な革命が現代社会に与えた課題を考察し、解決策を追究しようとしている。</p>	<p>・問い 欧米で起こった市民革命・産業革命により、社会はどのように変化したのだろうか。</p> <p>・指導事項 ①イギリスの革命とアメリカの独立 ②フランス革命～ヨーロッパ近代の幕開け ③フランス革命の影響と国民意識の芽生え</p> <p>④産業革命で変わる社会 ⑤イギリスの繁栄と国際分業体制</p> <p>・一人1 台端末の活用、史資料の読解等</p>	<p>【知識・技能】 市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現在社会との関わりを考察し、自分の言葉で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 市民革命や産業革命が現代社会に与えた課題について、解決策を追究しようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>単元 近代化の進展と国民国家形成</p> <p>【知識及び技能】 国民国家の形成について、ナショナリズムの運動に着目して理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 1848年を転換点とするヨーロッパにおける近代化の経緯について考察し、その特徴を表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 国民国家の形成や帝国主義政策が現代社会に与えた影響について考察し、解決策を追究しようとしている。</p>	<p>・問い 近代化が進むなかで、欧米諸国はどのような国家を形成していったのだろうか。</p> <p>・指導事項 ①1848年～近代ヨーロッパの転換点 ②イタリア・ドイツの統一とロシアの近代化 ③アメリカの拡大と第2次産業革命 ④帝国主義と世界の一体化</p> <p>・一人1 台端末の活用、史資料の読解等</p>	<p>【知識・技能】 国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、自分の言葉で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 国民国家や帝国主義政策が現代社会に与えた影響について、追究しようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>単元 アジア諸国の動揺と日本の開国</p> <p>【知識及び技能】 ヨーロッパの進出に対し、オスマン帝国、エジプト、イランの3国がそれぞれどのような対応をとったかを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 清と日本の欧米諸国への対応における相違点をあげ、その理由について考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 欧米諸国の進出に伴うアジア社会の変容が現代社会に与えた影響について考察し、その解決策を追究しようとしている。</p>	<p>・問い 近代化した欧米諸国の進出に、アジア諸国や日本はどのように対応したのだろうか。</p> <p>・指導事項 ①「西洋の衝撃」と西アジアの変化 ②南・東南アジアの植民地化 ③ヨーロッパの日本接近とアヘン戦争 ④黒船と日本の対応 ⑤新体制と江戸幕府の滅亡</p> <p>・一人1 台端末の活用、史資料の読解等</p>	<p>【知識・技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察し、「西洋の衝撃」の歴史的意義について自分の言葉で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が現代社会にどのような課題を生み出したかについて考察し、追究しようとしている。</p>	○	○	○	5
定期考査			○	○		1

高等学校 令和5年度（1学年用）教科

数学 科目 数学 I

教科： 数学

科目： 数学 I

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ H 組

使用教科書： （ 「新編 数学 I」 数研出版 ）

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】

数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】

数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】

数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとし、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとし、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	数や式を多面的にみたり適切に変形する力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、事象の特徴を表、式、グラフを関連付けて考察する力、社会的事象などから設定した問題について分析し、解決の過程や結果を考察し判断する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
				○	○	○	
1 学 期	単元 「式の計算」 【知識及び技能】 式を目的に応じて整理できる。 【思考力、判断力、表現力等】 複雑な式も、項を組み合わせるなどして適切に変形できる。 【学びに向かう力、人間性等】 既に学習した計算の方法と関連付けて、多面的に捉えたり、目的に応じて適切に変形できる。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学 I」 「練習ドリル 数学 I」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 式の形の特徴に着目して変形し、展開や因数分解の公式を適用することができる。 【思考・判断・表現】 複雑な式についても、項を組み合わせる、降べきの順に整理するなどして、因数分解をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 式の変形、整理などの工夫において、よりよい方法を考察しようとしている。	○	○	○	8
	単元 「実数」 【知識及び技能】 既習の数を実数としてまとめ、数の体系についての理解を深める。簡単な無理数の四則計算ができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 実数が四則演算に関して閉じていることや、直線上の点と1対1に対応していることなどについて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 実数の性質について考察する。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学 I」 「練習ドリル 数学 I」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 根号を含む式の加法、減法、乗法の計算ができ、分母の有理化ができる。 【思考・判断・表現】 実数を数直線上の点の座標として捉えられる。また、実数の大小関係と数直線を関係づけて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 対称式の値の求め方や循環小数が分数で表現できることに興味を示し、自ら考察しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
	単元 「一次不等式」 【知識及び技能】 不等式の解の意味や不等式の性質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 具体的な事象に関連した課題の解決に1次不等式を活用する力を培う。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学 I」 「練習ドリル 数学 I」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 不等式における解の意味を理解し、1次不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 絶対値記号を含むやや複雑な式についても、適切に絶対値記号をはずす処理ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常的な事象に1次不等式が活用できることに興味をもち、考察しようとしている。	○	○	○	11
	単元 「集合と命題」 【知識及び技能】 集合と命題に関する基本的な概念を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 集合と命題に関する概念を事象の考察に活用できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 背理法を利用して命題を証明することができる。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学 I」 「練習ドリル 数学 I」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 集合とその表し方を理解している。 【思考・判断・表現】 命題の真偽を、集合の包含関係に結び付けてとらえることによって考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 直接証明法では難しい命題も、対偶を用いた証明法や背理法を用いると鮮やかに証明できることに興味・関心をもち、実際に証明しようとしている。	○	○	○	10
定期考査			○	○	○	1	
2 学 期	単元 「2次関数とグラフ」 【知識及び技能】 2次関数の値の変化やグラフの特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータなどの情報機器を用いて2次関数のグラフをかく。 【学びに向かう力、人間性等】 2次関数の式とグラフとの関係について、多面的に考察する。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学 I」 「練習ドリル 数学 I」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 平方完成を利用して、2次関数 $y=[ax]^2+bx+c$ のグラフの軸と頂点を調べ、グラフをかくことができる。 【思考・判断・表現】 放物線の平行移動を、頂点の移動に着目して、考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 放物線の持つ性質に興味・関心を示し、自ら調べようとしている。	○	○	○	9
	単元 「2次関数の値の変化」 【知識及び技能】 2次関数のグラフを通して関数の値の変化を考察する。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数の最大値や最小値を求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 2次関数の最大・最小の考えを利用して日常生活における具体的な事象を考察する。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学 I」 「練習ドリル 数学 I」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 2次関数を $y=[a(x-p)]^2+q$ の形に式変形して、最大値、最小値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 定義域が変化するときや、グラフが動くときの最大値や最小値について、考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活における具体的な事象の考察に、2次関数の最大・最小の考えを活用しようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○	○	1
	単元 「2次方程式と2次不等式」 【知識及び技能】 2次方程式や2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近にある具体的な問題を2次不等式で解決できる。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学 I」 「練習ドリル 数学 I」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 2次方程式・不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 2次式が一定の符号をとるための条件を、グラフと関連させて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 2次関数で表される事象の具体例について興味をもち、考察しようとしている。	○	○	○	14
	単元 「三角比」 【知識及び技能】 三角比の意味やその基本的な性質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 三角比の相互関係などを理解できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、三角比を活用して問題を解決する力を培う。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学 I」 「練習ドリル 数学 I」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 直角三角形の辺の長さや三角比で表す式を理解し、測量などの応用問題に利用できる。 【思考・判断・表現】 三平方の定理をもとに三角比の相互関係を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 tanθと直線の傾きの関係に興味をもち考察しようとしている。	○	○	○	9
定期考査			○	○	○	1	

3 学 期	<p>単元 「三角形への応用」</p> <p>【知識及び技能】 正弦定理、余弦定理の意味を理解し利用することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 正弦（余弦）定理や面積を求める公式を導くことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、正弦定理、余弦定理などを活用して問題を解決する力を培う。</p>	<p>・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出</p> <p>・教材 「4プロセス 数学Ⅰ」 「練習ドリル 数学Ⅰ」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表</p>	<p>【知識・技能】 余弦定理や正弦定理を用いて、三角形の残りの辺の長さや角の大きさを求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 正弦定理、余弦定理を導くことができる。三角比と三角形の面積の関係を考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 正弦定理、余弦定理、三角形の内接円と面積の関係を導こうとする。日常の事象や社会の事象などに正弦定理や余弦定理を活用しようとしている。</p>	○	○	○	11
	<p>単元 「データの分析」</p> <p>【知識及び技能】 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する力を養う。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 手法を選択してデータの分析を行い、事象の特徴を表現する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主張の妥当性について、実験を通して判断し、批判的に考察する力を養う。</p>	<p>・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出</p> <p>・教材 「4プロセス 数学Ⅰ」 「練習ドリル 数学Ⅰ」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表</p>	<p>【知識・技能】 データの代表値、分散、標準偏差の定義とその意味を理解し、計算して求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 変数の変換によって、平均値や標準偏差がどのように変化するか、考察しようとしている。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							105

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科

数学 科目 数学A

教科： 数学

科目： 数学A

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ H 組

使用教科書： (「新編 数学A」 数研出版)

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】

数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】

数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】

数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとし、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとし、評価・改善しようとする。

科目 数学A

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	単元 集合 集合の概念、要素の個数、ベン図等について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学A」 「練習ドリル 数学A」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 和集合や補集合について理解し、その要素の個数を求めることができる。ベン図を利用することで、和集合や補集合の要素の個数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ベン図を利用して集合を図示することで、集合の要素の個数を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 集合を考えることで、日常的な事柄などを、集合の要素の個数として数学的に教えようとする。	○	○	○	3	
	単元 場合の数・順列 場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。 いくつかのものの中からその一部を取り出して1列に並べるとき、並べ方の総数について調べることができるようにする。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学A」 「練習ドリル 数学A」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 ○樹形図を用いて、場合の数をめれなくかつ重複なく数えることができる。順列の総数、階乗を記号で表し、それを活用できる。順列、円順列、重複順列の公式を理解し、活用することができる。 【思考・判断・表現】 場合の数を数える適切な方針を考察することができる。条件が付く順列、円順列を、見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 道順の数え方に興味をもち、樹形図、和の法則や対称性などによる場合の数の数え方に興味をもち、既知である種の法則から順列の総数を求める式を導こうとする。	○	○	○	7	
	定期考査				○	○	○	1
	単元 組み合わせ・確率の基本的性質 いくつかのものの中からその一部を取り出して1列に並べるとき、その組の総数について調べることができるようにする。 身の回りの事象について、起こりやすさ・起こりにくさを数学的に考えることができるようにする。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学A」 「練習ドリル 数学A」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 組合せの数を記号で表し、それを活用できる。また、組合せの公式を理解し、活用することができる。確率の定義を理解し、確率の求め方がわかる。 【思考・判断・表現】 既知である種の問題をもとにして、組合せの総数を考察することができる。不確定な事象を、同様に確からしいという概念をもとに、数式的に捉えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 既知の組合せの問題に興味・関心をもち、1個のさいころを繰り返し投げた実験などを通して、統計的確率と数学的確率の違いに興味・関心をもち、	○	○	○	7	
	単元 独立な試行と確率、条件付き確率、期待値 集合を用いて確率の事象を明らかにする。 複数の試行を行うときの確率を考察することができるようにする。 条件付き確率と期待値の概念を理解し、身の回りの事象について考えることができるようにする。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学A」 「練習ドリル 数学A」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 独立な試行の確率を、公式や加法定理などを用いて求めることができる。条件付き確率や確率の乗法定理を用いて確率の計算ができる。期待値の定義を理解し、期待値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 独立な試行の確率を、具体的な例から直感的に考えることができる。既習の確率と条件付き確率の違いについて、図や表などを用いて考察することができる。結果が不確定な状況下において、どの選択が合理的かを判断する基準として、期待値の考えを用いて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 加法定理などを利用して、複雑な事象の確率を直感的に求めようとする。条件付き確率や確率の乗法定理の考えに興味・関心をもち、積極的に活用しようとする。日常の事象における不確定な事柄について判断する際、期待値を用いて比較し、考察しようとする。	○	○	○	7	
定期考査				○	○	○	1	
2 学 期	単元 約数と倍数、素因数分解、最大公約数、最小公倍数、 約数と倍数の性質、素因数分解について理解できるようにする。2つ以上の整数について、共通する約数や倍数について理解し、考察することができるようにする。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学A」 「練習ドリル 数学A」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 いろいろな数の倍数の判定法を理解している。自然数の正の約数やその倍数を求めるのに、素因数分解が利用できることを理解している。素因数分解を利用して最大公約数・最小公倍数を求める方法を理解している。 【思考・判断・表現】 決められた手順で複数のカードを操作する事象などを数学的に捉え、約数の個数の考えを用いて仕組みを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 いろいろな数の倍数の判定法について調べようとする態度がある。数学史に興味・関心をもち、素数と素因数分解について字づける態度がある。	○	○	○	8	
	単元 整数の割り算、ユークリッドの互除法 整式の割り算について、身の回りの事象に関連付けて考えることができる。素因数が大きい数の最大公約数を求める方法について理解し、1次不定方程式の解法を身に付ける。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学A」 「練習ドリル 数学A」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 2つの整数 a, b を除数と余りを用いて表し、a+b などの余りを求めることができる。互除法の原理を理解し、互除法を用いて2数の最大公約数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 問題解決の過程を振り返って、割り算の余りの性質について考察を深めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学史の話題を通じて、割り算の方法や割り算の余りの性質に興味・関心をもち、素因数分解をしなくても、互除法によって最大公約数が求められることに興味・関心をもち、	○	○	○	7	
	定期考査				○	○	○	1
2 学 期	単元 1次不定方程式 さまざまな1次不等式について、その整数解を求める解法を学ぶとともに、身の回りの事象に活用できるようにする。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学A」 「練習ドリル 数学A」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 互除法の原理を理解し、互除法を用いて2数の最大公約数を求めることができる。1次不定方程式の特殊解を求め、それによりすべての整数解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 天秤のつり合いや油分け算などの日常的な問題について、1次不定方程式と関連付けて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 素因数分解をしなくても、互除法によって最大公約数が求められることに興味・関心をもち、	○	○	○	7	
	単元 記数法、座標の考え方、ゲーム・パズルの中の数学 さまざまな記数法を学び、平面や空間の位置を表す座標を考え、数学を様々な場面で有効に活用できるようにする。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学A」 「練習ドリル 数学A」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 記数法、n進法について理解している。n進法の整数を10進法で、10進法の整数をn進法で表すことができる。地上における特定の地点を、座標平面上の点と捉え位置を座標で表現できる。 【思考・判断・表現】 現代の記数法を古代の記数法と比較し、特徴を説明することができる。平面上の点の座標の考え方を、空間上の点の座標に拡張して考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 天秤のつり合いや油分け算などの日常的な問題について、1次不定方程式と関連付けて考察しようとする態度がある。数学史の話題を通じて、数の表し方に興味・関心をもち、コンピュータなどの身近な身体に、n進法の考え方が活用されていることに興味・関心をもち、平面上の点の位置に関する問題を、座標平面上で代数的に解決する解法を身につけようとする。	○	○	○	7	
	定期考査				○	○	○	1

3 学 期	単元 平面図形 三角形、円、円と直線の間に成り立つ関係、多角形、作図などについて学び、それらを様々な場面で活用できるようにする。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学A」 「練習ドリル 数学A」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 定理を適切に利用して、線分の比や長さを求めることができる。円の基本的な性質を理解している。中学校で学んだ垂線の作図を知っている。 【思考・判断・表現】 図形の性質を証明するのに、既習事項を用いて論理的に考察することができる。また、適切な補助線を引いて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 三角形や円に成り立つ定理に興味を示し、積極的に考察しようとする。数学で扱う作図と、日常において図形をかくことでは、何が違うか考えてみようとする。	○	○	○	6	
	単元 空間図形 直線と平面の関係、空間図形と多面体などについて学び、それらを様々な場面で活用できるようにする。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学A」 「練習ドリル 数学A」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 空間における2直線の位置関係やなす角を理解している。正多面体の特徴を理解し、それに基づいて面、頂点、辺の数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 空間における直線と平面が垂直になるための条件を、与えられた立体に当てはめて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 空間における図形の位置関係について、積極的に考えてみようとする。オイラーの多面体定理がどんな凸多面体でも成り立つかどうか調べてみようとする。	○	○	○	6	
	定期考査			○	○	○	1	
							合計	70

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教科：理科 科目：化学基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～H組

使用教科書：（化基704 「化学基礎」 実教出版）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

科目 化学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学に関する事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、化学に関する事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然界や産業界にある事物・現象の中に問題を見出し、化学的に探究する過程を通して、現象を科学的・論理的に考察し、導き出した考えを的確に表現することができる。	自然の事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度が養われている。自然の原理・法則や科学技術と私たちの生活のかかわりについて社会が発展するための基盤となる化学に対する興味・関心を高めている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
序章 物質と化学 【知識及び技能】 物質について調べることにより、さまざまな物質も特徴によって分類することができることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 中学で行った物質に関する実験を振り返り、これから学ぶ化学が物質に関する学問であることを理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 身のまわりの物質に着目し、我々の生活が物質に支えられていることを理解させる。	・指導事項 基本的な概念や原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 教科書・授業プリント・問題プリント ・一人1台端末の活用 等 タブレットによる参考資料の配布	【知識・技能】 物質の性質に注目し、それぞれの物質を性質ごとに分類することができる。 【思考・判断・表現】 実験を通して、身近な物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活や社会を支える物質やその利用に関心を持ち、物質の取り扱い方や人間生活における役割を探究しようとする。	○	○	○	2
1章 物質の構成 1節 物質の探究 【知識及び技能】 混合物と純物質の違いを理解し、自然界の物質の多くが混合物であることを理解させる。また、混合物から目的の物質に分離するには、物質の性質に合わせた方法があることを知る。 元素の意味を知り、純物質のなりたちを理解する。 粒子の熱運動と温度及び物質の三態変化との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の物理的、化学的性質を調べることにより、物質が数種類に分類できることを実験的・論理的に考え、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 物質の構造や性質に関する事象に関心を持ち、意欲的に物質を探究させる。	・指導事項 基本的な概念や原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 教科書・授業プリント・問題プリント ・一人1台端末の活用 等 タブレットによる参考資料の配布	【知識・技能】 身のまわりの物質を純物質と混合物に分類することができる。 粒子の熱運動と粒子間にはたらく力との関係を理解し、物質の状態変化について粒子の運動をもとに考えることができる。 【思考・判断・表現】 物質の物理的、化学的性質を調べることにより、物質が数種類に分類できることを実験的・論理的に考え、表現することができる。 「実験1 炭色反応」において、実験の基本操作と検出方法について理解し、物質を探究するための具体的な方法を身に付ける。また、実験結果を考察し、発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質の構造や性質に関する事象に関心を持ち、意欲的に物質を探究しようとする。 身近な物質の三態変化と、粒子の熱運動と温度との関係に関心を持ち、それらを意欲的に探究しようとする。	○	○	○	5
2節 物質の構成粒子 【知識及び技能】 原子の構造及び陽子、中性子、電子の性質を理解させる。 同位体の定義とその性質を理解する。 陽イオン、陰イオンの生成のしくみを理解させる。 周期表の族や周期との関係について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 原子構造の簡単なモデルを描く技能を習得させる。 イオンの生成を電子配置と関連づけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 元素の性質に興味を持ち、元素の性質が周期的に変わることを探求する力を養う。	・指導事項 基本的な概念や原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 教科書・授業プリント・問題プリント ・一人1台端末の活用 等 タブレットによる参考資料の配布	【知識・技能】 物質が原子から成り立っていることを理解する。 原子は原子核と電子からなっていて、価電子が物質の性質を決めていることを推論・理解できる。また、同位体についての正しい知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 原子構造の簡単なモデルを描く技能を習得し、的確に表現することができる。 イオンの生成を電子配置と関連づけて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 元素の性質に興味を持ち、元素の性質が周期的に変わることを探求しようとする。また、元素の性質が電子配置と関係しており、現在の周期表がつけられていることを理解することができる。	○	○	○	5
1学期 定期考査			○	○		1
2章 物質と化学結合 1節 イオン結合 【知識及び技能】 陽イオンと陰イオン間の静電的引力によりイオン結合が形成されることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 水溶液中や溶融した状態のイオンの挙動をイメージさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 イオン結合でできた物質の性質について興味を持ち、自ら探究する力を培う。	・指導事項 基本的な概念や原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 教科書・授業プリント・問題プリント ・一人1台端末の活用 等 タブレットによる参考資料の配布	【知識・技能】 イオン結合がイオン間の静電的引力による結合であることを理解している。 【思考・判断・表現】 水溶液中や溶融した状態のイオンの挙動をイメージし、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 イオン結合でできた物質の性質について探究しようとする。	○	○	○	5
2節 共有結合と分子間力 【知識及び技能】 共有結合を電子配置と関連づけて理解させる。また、配位結合や分子に働く力、分子結晶や高分子化合物について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 分子中の原子の結合および分子の構造を表す方法を理解させ、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 分子からなる物質や、共通結合の結晶の性質について興味を持ち、自ら探究する力を培う。	・指導事項 基本的な概念や原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 教科書・授業プリント・問題プリント ・一人1台端末の活用 等 タブレットによる参考資料の配布	【知識・技能】 共有結合を電子配置と関連づけて理解することができる。また、配位結合について理解している。分子に働く力を理解し、分子結晶や高分子化合物について理解している。 【思考・判断・表現】 分子の電子式・構造式を書くことができる。電気陰性度を理解し、分子の形と合わせて極性について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 分子からなる物質や、共通結合の結晶の性質について探究しようとする。	○	○	○	5

高等学校 令和5年度（1学年用）教科 理科 科目 物理基礎

教科： 理科 科目： 物理基礎 単位数： 2 単位

対象学年組：第1学年 A組～H組

使用教科書：（物基710「高等学校 新物理基礎」第一学習社）

教科 理科 の目標：

- 【知識及び技能】 自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 自然の事物・現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。
- 【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

科目 物理基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事物・現象についての物理法則の理解を深め、物理現象を科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見いだし、物理法則や物理量の関係式を用いた解法で見通しをもって、科学的に探究する力を身に付けている。	自然の事物・現象に主体的に関わり、物理学で学んだ知識を用いて探究しようとする態度を身に付けている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1節 物体の運動 【知識・技能】 直線上を運動している物体の合成速度や相対速度を考慮することができる。 【思考・判断・表現】 自由落下や鉛直投射について、式やグラフを用いて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 速度が変化する日常での事象について意欲的に考え、加速度とはどのような物理量であるかを考察しようとする。	第1節 物体の運動 ①速さ ②等速直線運動 ③変位と速度 ④速度の合成・相対速度 ⑤加速度 ⑥等加速度直線運動(1) ⑦等加速度直線運動(2)	【知識・技能】 直線上を運動している物体の合成速度や相対速度を考慮することができる。 【思考・判断・表現】 自由落下や鉛直投射について、式やグラフを用いて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 速度が変化する日常での事象について意欲的に考え、加速度とはどのような物理量であるかを考察しようとする。	○	○	○	9
第2節 力と運動の法則 【知識・技能】 さまざまな状態にある物体について、はたらく力を図示することができる。また、運動方程式を立てることができる。 【思考・判断・表現】 力のベクトルの性質を踏まえ、つりあいの式を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物体が落下するときのようすなどに関心をもち、それらの現象を物理的に考えようとする。	⑧重力加速度と自由落下 ⑨鉛直投射 ⑩水平投射 第2節 力と運動の法則 ①力と質量 ②いろいろな力 ③力の合成・分解と成分 ④力のつりあい ⑤作用・反作用の法則 ⑥慣性の法則	【知識・技能】 さまざまな状態にある物体について、はたらく力を図示することができる。また、運動方程式を立てることができる。 【思考・判断・表現】 力のベクトルの性質を踏まえ、つりあいの式を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物体が落下するときのようすなどに関心をもち、それらの現象を物理的に考えようとする。	○	○	○	11
1学期中間考査			○	○		1
1学期 第3節 仕事と力学的エネルギー 【知識・技能】 静止摩擦力、動摩擦力の大きさを計算できる。物体が受ける水圧や浮力の大きさを計算できる。 【思考・判断・表現】 実験データを分析しながら、力と加速度の関係、質量と加速度の関係を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 摩擦力や浮力など、さまざまな力を含めた物体の運動について、物理学的に理解しようとしている。	⑦力と質量と加速度の関係(1) ⑧力と質量と加速度の関係(1) ⑨運動の法則 ⑩摩擦力 ⑪流体から受ける力 第3節 仕事と力学的エネルギー ①力がする仕事 ②仕事の原理と仕事率	【知識・技能】 静止摩擦力、動摩擦力の大きさを計算できる。物体が受ける水圧や浮力の大きさを計算できる。 【思考・判断・表現】 実験データを分析しながら、力と加速度の関係、質量と加速度の関係を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 摩擦力や浮力など、さまざまな力を含めた物体の運動について、物理学的に理解しようとしている。	○	○	○	8
第II章 熱 第1節 熱とエネルギー 【知識・技能】 運動エネルギーの大きさを計算し、物体がされた仕事との関係についても式を用いて計算できる。 【思考・判断・表現】 種々の物体の運動について、力学的エネルギー保存の法則を適用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 力学的エネルギー保存の法則に関連させ、振り子の速さの測定などの実験に積極的に取り組んでいる。	③運動エネルギー ④重力による位置エネルギー ⑤弾性力による位置エネルギー ⑥力学的エネルギー(1) ⑦力学的エネルギー(2) 第II章 熱 第1節 熱とエネルギー ①温度と熱運動	【知識・技能】 運動エネルギーの大きさを計算し、物体がされた仕事との関係についても式を用いて計算できる。 【思考・判断・表現】 種々の物体の運動について、力学的エネルギー保存の法則を適用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 力学的エネルギー保存の法則に関連させ、振り子の速さの測定などの実験に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	7
1学期期末考査			○	○		1

高等学校 令和5年度（1学年用 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 A組～H組

使用教科書：（「ステップアップ高校スポーツ2022」（大修館書店））

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>単元：体づくり運動</p> <p>【知識及び技能】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、話合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 オリエンテーション 集団行動 ラジオ体操 基礎運動 体力テスト ・教材 新体力テスト実施要領 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・運動】 体づくり運動では、自己のねらいに応じて、効果的な成果を得るための適切な運動の行い方があることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 生活様式や体力の程度を踏まえ、自己のねらいに応じた運動の計画を立案している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動の学習に主体的に取り組もうとしている。 一人ひとりの違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。</p>	○	○	○	9
<p>単元：陸上競技</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするなど、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 リレー指導 脚力教科トレーニング ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡して次走者のスピードを十分高めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするなど、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保しようとしている。</p>	○	○	○	12
<p>1 学 期</p> <p>単元：球技</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとするなど、作戦などについての話合いに貢献しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするなど、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 球技：バレーボール ・教材 試合シート ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出している。</p> <p>【思考・判断・表現】 提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に仲間の課題や出来栄を伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 球技の学習に積極的に取り組もうとしている。 マナーを守ったり相手の検討を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。</p>	○	○	○	12

	<p>単元：水泳</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとする事、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 泳法指導 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。複数の泳法で泳ぐこと、またはリレーをすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 泳法などの事故や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとする事、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	9
2 学期	<p>単元：水泳</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとする事、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 泳法指導 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。複数の泳法で泳ぐこと、またはリレーをすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 泳法などの事故や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとする事、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	9
	<p>単元：球技</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 球技：バドミントン ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出している。</p> <p>【思考・判断・表現】 提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に仲間の課題や出来栄を伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 球技の学習に積極的に取り組もうとしている。マナーを守ったり相手の検討を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。</p>	○	○	○	12
	<p>単元：ダンス</p> <p>【知識及び技能】 感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとする事、作品や発表などの話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとする事などや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 現代的なリズムのダンス 創作ダンス ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとする事、作品や発表などの話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとする事などや、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	12

<p>単元：陸上競技</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする。健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 長距離走</p> <p>・教材 一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする。健康・安全を確保しようとしている。</p>	○	○	○	9
<p>単元：陸上競技</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする。健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 長距離走</p> <p>・教材 一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする。健康・安全を確保しようとしている。</p>	○	○	○	9
<p>3 学 期</p> <p>単元：球技</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携したゲームを展開すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。作戦などについての話し合いに貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い、教え合おうとすること。健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 バスケットボール</p> <p>・教材 一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出している。</p> <p>【思考・判断・表現】 提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に仲間の課題や出来栄を伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 球技の学習に積極的に取り組もうとしている。マナーを守ったり相手の検討を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。</p>	○	○	○	12
						合計
						105

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽I

教科：芸術 科目：音楽I 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～H組

使用教科書：（ON! 1 音楽之友社）

教科 芸術 の目標： 音楽・美術・書道の芸術に関する専門教育を通して、我が国の芸術文化を支え、国内外での芸術文化活動により社会貢献できる心豊かな人間の育成を図る。

【知識及び技能】芸術活動を通じて、専門分野の能力の向上、国際的に活躍することができる人材の育成。

【思考力、判断力、表現力等】芸術活動を通じて、論理的思考力、課題解決能力の育成、および、創造力・表現力（専門分野）の向上。

【学びに向かう力、人間性等】芸術活動を通じて、将来を設計する力、コミュニケーション能力の向上。

科目 音楽I の目標： 音楽の幅広い活動を通して、生活や社会の中の音や音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自らの考えや感性を整理して分析するための知識や、それを表現するために必要な技能を身に付ける。	音楽の幅広い活動を通して、生活や社会の中の音や音楽文化と幅広く関わり、思考力、判断力、専門的な表現力を養う。	音楽の幅広い活動やグループ活動を通して、豊かな人間性を持った人材の育成を目指し、コミュニケーション能力を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	創						
1 学期	1. 音楽鑑賞、歌唱、器楽 【知識及び技能】 ・音楽的な基礎知識の習得 ・発声法、呼吸法 ・音楽史、文化の理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・歌詞の意味を理解して表現豊かに歌う ・ギターを用いて演奏表現する 【学びに向かう力、人間性等】 ・グループ活動を通してコミュニケーション能力および豊かな人間性を養う。	・腹式呼吸の特徴をつかみ、歌うときの姿勢を身につける。 ・歌唱に必要な発声を身につける。 ・曲の理解を深めると共に、音楽の諸要素との関係に気をつけながら歌う。 ・譜読に必要な基本的音楽知識（音符、休符、拍子）について学ぶ。 ・ギターの基礎（構え方、各部の名称、弾き方）を学ぶ。 ・音楽作品を鑑賞し、音楽の諸要素を感じ取り自らの意見とその根拠を分析し表現する。	○	○	○	【観点】 授業における態度、音や音楽に対する興味・関心、音楽活動に対する意欲。（興味・関心） 授業内で実施する歌唱試験による音楽表現技能・能力の到達度や表現の工夫。（表現の技術） 【評価】 授業態度 実技テスト	○	○	○	20
	2. 歌唱、器楽 実技発表 【知識及び技能】 ・学習した内容を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・実技発表において自らの表現ができる 【学びに向かう力、人間性等】	・曲の理解を深めると共に、音楽の諸要素との関係に気をつけながら歌う。 ・ギターの基礎を理解し、自らの表現で演奏する。	○	○	○	【評価】 実技テスト	○	○	○	4
2 学期	3. 音楽鑑賞、歌唱、器楽 【知識及び技能】 ・音楽的な基礎知識の習得 ・発声法、呼吸法 ・音楽史、文化の理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・歌詞の意味を理解して表現豊かに歌う ・ギターを用いて演奏表現する 【学びに向かう力、人間性等】 ・グループ活動を通してコミュニケーション能力および豊かな人間性を養う。	・複数のパートに分かれて歌う。（三部合唱） ・譜読ができる。（楽譜をみて演奏できているか） ・自分の担当する内容を、よく練習し、演奏出来ているか。 ・合唱、アンサンブルの楽しさを味わう。 ・ギターでメロディー奏、コード弾き語り、アンサンブルをする。	○	○	○	【観点】 授業における態度、音や音楽に対する興味・関心、音楽活動に対する意欲。（興味・関心） 授業内で実施する歌唱・器楽の実技試験による音楽表現技能・能力の到達度や表現の工夫。（表現の技術） 【評価】 授業態度 筆記小テスト 実技テスト	○	○	○	26
	4. 歌唱、器楽 実技発表 【知識及び技能】 ・学習した内容を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・実技発表において自らの表現ができる 【学びに向かう力、人間性等】 ・互いに認め合い鑑賞する	・曲の理解を深めると共に、音楽の諸要素との関係に気をつけながら歌う。 ・ギターの基礎を理解し、自らの表現で演奏する。 ・グループメンバーで楽曲をアレンジ（創作）し、オリジナルのアンサンブルを創作・演奏する。	○	○	○	【評価】 授業態度 筆記小テスト 実技テスト	○	○	○	4
3 学期	5. 音楽鑑賞、歌唱、器楽 【知識及び技能】 ・音楽的な基礎知識の習得 ・発声法、呼吸法 ・音楽史、文化の理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・歌詞の意味を理解して表現豊かに歌う ・ギターを用いて演奏表現する 【学びに向かう力、人間性等】 ・グループ活動を通してコミュニケーション能力および豊かな人間性を養う。	・グループによる演奏発表（呼吸や姿勢を意識して表現しているか。） ・これまでの学習を通し学んだことをいかして演奏しようとしているか。 ・グループ活動において、仲間と協力して練習に取り組んでいるか。 ・サウンドスケープ、環境音楽について考える。 ・「音楽」とは何か、考える。	○	○	○	【観点】 授業における態度、音や音楽に対する興味・関心、音楽活動に対する意欲。（興味・関心） 授業内で実施する歌唱試験による音楽表現技能・能力の到達度や表現の工夫。（表現の技術） 【評価】 授業態度 筆記小テスト 実技テスト／発表	○	○	○	10
	6. 歌唱、器楽 実技発表 【知識及び技能】 ・学習した内容を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・実技発表において自らの表現ができる 【学びに向かう力、人間性等】	・グループ活動において、仲間と協力して練習に取り組んでいるか。 ・グループメンバーで楽曲をアレンジ（創作）し、オリジナルのアンサンブルを創作・演奏する。	○	○	○	【評価】 授業態度 筆記小テスト 実技テスト／発表	○	○	○	6
										合計
										70

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科： 芸術 科目： 書道 I 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A, B, C, D, E, F 組

使用教科書：（ 教育図書 書 1 ）

教科 芸術 の目標： 美術・音楽・書道の芸術に関する専門教育を通して、我が国の芸術文化を支え、国内外での芸術文化活動により社会貢献できる心豊かな人間の育成を図る。

【知識及び技能】 芸術に関する教科の特質を理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けていく。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道 I の目標： 書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の基本的な技術を身に付けていくとともに、表現するうえで適切な技法を身に付けていく。	書の歴史的背景、書家の人物像にも思いを馳せ、筆法の説明も自らの言葉でできるように、臨書、鑑賞を重ねていく。	自主的に創意工夫を重ねていく学習態度を身に付けていく。表現する技術と感性を自ら高めていくことで、生涯にわたって、書、芸術を愛好する心情を育てていきたい。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		漢 仮	漢	仮						
1 学 期	書道の基本	書道用具の正しい扱い方を学ぶ。また、芸術としての書に触れる。書の鑑賞の導入。	○		○					4
	楷書の学習	九成宮禮泉銘 筆法を知る。実際に書くことは勿論のこと、言葉にして説明もできるようにしてほしい。	○		○					6
	楷書の学習	孔子廟堂碑 筆法を知る。九成宮禮泉銘との比較してそれぞれの特徴を理解していく。	○		○					6
	書の作品制作の導入	孔子廟堂碑 筆法を知る。九成宮禮泉銘との比較してそれぞれの特徴を理解していく。	○		○					8
2 学 期	作品展示	文化祭に向けた作品展示 クラスメートまたは、グループで協力して作業を進めること。			○					10
	行書の学習	蘭亭序を臨書して学び、行書について理解する。	○		○					8
	行書の学習	行書の基本について学び、行書体で書く。	○		○					12
3 学 期	仮名の学習	日本の仮名の古典を学びながら、変体仮名、連綿の構造などを知る。日本の美の一つに挙げられる仮名に親しむ。			○					8
	漢字かな交じりの学習	漢字かな交じりの書で創作の基本を学び、創作する。	○		○					8
									合計	70

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教科：芸術 科目：美術 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ H 組

使用教科書：（ 日本文教出版 『高校生美術1』 ）

教科 芸術 の目標： 美術・音楽・書道の芸術に関する専門教育を通して、我が国の芸術文化を支え、国内外での芸術文化活動により社会貢献できる心豊かな人間の育成を図る。

【知識及び技能】 芸術活動を通じて、専門分野の能力の向上、国際的に活躍することができる人材の育成。

【思考力、判断力、表現力等】 芸術活動を通じて、論理的思考力、課題解決能力の育成、および、創造力・表現力（専門分野）の向上。

【学びに向かう力、人間性等】 芸術活動を通じて、将来を設計する力、コミュニケーション能力の向上。

科目 美術 I の目標： 美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようになる。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		絵 ・ 彫	手 映	鑑 賞						
1 学 期	<p>(1) 『美術とはなにか』 「描く手」 エッセイの作品鑑賞を通して、美術の創造活動の喜びを味わい、表現や鑑賞の能力を身に付ける取り組み方について学習する。</p> <p>【知識及び技能に関する目標】 視覚に関する錯覚の効果を理解し、不思議なイメージを捉え、意図に応じて絵具などの特性を生かして表す。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等に関する目標】 錯視やイメージの重なりなどを基に、形や色彩、描くものや配置などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 不思議な世界を表す創造活動に、主体的に取り組む。</p>	<p>(1) オリエンテーション『美術とは何か』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書・制作ノート・筆記用具 ・リサーチ ・端末利用 美術史のリサーチ 	○		○	<p>【知識及び技能】 「知」 視覚に関する錯覚の効果、質感や空間など造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。「技」 意図に応じて、モチーフと風景の関係を考えながら、位置や角度などを創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。</p> <p>【思考・判断・表現】 「発」 錯視やイメージの重なりなどを基に、主題を生成し、形体や色彩、配置、組み合わせなど、不思議な世界をつくり出す表現の効果などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。「鑑」 錯視や不思議な世界の表現の効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 「態度」 錯視やイメージの重なりなどを基に、不思議な世界を表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。「態度」 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい錯視や不思議な世界の特徴や美しさなどについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	2
	<p>(2) 『模写』 鑑賞の能力を養い、感性や想像力を働かせて、造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫への理解や見方を深める。</p> <p>【知識及び技能に関する目標】 作家の描いた作品の鑑賞を通して、形や色、構図や表情などの感情に与える効果や造形的な特徴を基に全体のイメージなどを捉え、材料の特性を生かして創造的に表す。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等に関する目標】 自身の内にある本質などに向き合い、見つめ直し、感じ取ったことや考えたことなどを基に、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 自己の内面を人物画に表す創造活動に、主体的に取り組む。</p>	<p>(2) 『模写』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書・制作ノート・ケント紙・筆記用具 ・端末利用 美術史のリサーチ 	○		○	<p>【知識及び技能】 「知」 作品の鑑賞を通じて、造形的特徴などを基に作者の内面や作風様式などを捉えることを理解している。「技」 意図に応じて鉛筆や絵の具などの特性を生かし、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。</p> <p>【思考・判断・表現】 「発」 鑑賞を通じて感じ取ったことや想像したことなどから主題を生成し、表現形式の特性を生かし、創造的な表現の構想を練っている。「鑑」 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 「態度」 「態度」 美術や美術文化と豊かに関わり、鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>(3) 『名前のデザイン』 レタリングの目的を理解し、発想やアイデアを楽しく人に伝えることを学習する。</p> <p>【知識及び技能に関する目標】 形や色、配置や構図の効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などを捉え、意図に応じて絵の具の特性を生かして表す。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等に関する目標】 身近なものの組み合わせから感じ取ったり考えたりしたことを基に、パースや視点の位置、並びや組み合わせを考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 制作者の視点に着目して、配置や構図による表現の特性を生かして絵画に表す創造活動に、主体的に取り組む。</p>	<p>(3) 『名前のデザイン』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書・制作ノート・ワトソン紙・アクリル絵の具・筆記用具 ・端末利用 名前のデザインのリサーチ 	○	○	○	<p>【知識及び技能】 「知」 身の回りのものを描く際の配置や構図、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。「技」 意図に応じて画面の比率、形や色、配置や構図などの特性を生かし、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。</p> <p>【思考・判断・表現】 「発」 身近なものの特徴を観察し、感じ取ったことなどから主題を生成し、レタリング表現の特性を生かし、形や色、配置、構図などを考え、創造的な構想を練っている。「鑑」 名前のデザインの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 「態度」 「態度」 美術や美術文化と豊かに関わり、配置や構図による表現と鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10

2 学 期	<p>(4) 『PRキャラクター立体制作』 地域を活性化したり、企業の商品を宣伝したり、イベントを盛り上げたり、日本の広告デザインに用いられるキャラクターについて深く理解し、オリジナルのPRキャラクターを立体で制作する。</p> <p>【知識及び技能に関する目標】 キャラクターの形や色、性格を表すポーズや持ち物などの効果、伝達したい情報やイメージなどを捉え、材料や用具などの特性を生かして表す。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等に関する目標】 伝えたい情報や使われる場面などを基に、キャラクターの形や色彩、性格設定などによる伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 伝えたい情報やイメージをキャラクターとして豊かに表す創造活動に、主体的に取り組む。</p>	<p>(4) 『PRキャラクター立体制作』</p> <p>・教科書・制作ノート・石粉粘土・アクリル絵の具・筆記用具</p> <p>・端末利用 PRキャラクターデザインのリサーチ</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <p>「知」 形や色彩の性質及びそれらが人の感情にもたらす効果や、キャラクターのポーズや持ち物など造形的な特徴を基に、全体のイメージで捉えることを理解している。「技」 意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら創造的に表している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>「発」 情報を伝えるために、キャラクターの形や色彩、性格を表すポーズや持ち物などが感情にもたらす効果や伝達効果と美しさとの調和などを総合的に考え、表現の構想を練っている。「鑑」 キャラクターの伝達効果や洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>「態表」 主題を生み出し、キャラクターの伝達効果などを総合的に考え構想を練り、意図に応じて創造的に工夫し見直しを持って表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。「態鑑」 キャラクターの伝達効果や洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	12
	<p>(6) 『学校の風景』 遠近法の歴史について学習し、校内の風景を自由に描く。視点の工夫や色彩の使い方など工夫をこらし、自分らしい作品制作をめざす。</p> <p>【知識及び技能に関する目標】 風景の中の空間を表す活動を通して、形や色、構図などの感情に与える効果、造形的な特徴などを基に全体のイメージなどを捉え、遠近法を生かして創造的に表す。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等に関する目標】 身近な場所の風景などから感じ取ったことや考えたことを基に、形や色、構図などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 風景から感じ取ったよさや美しさなどを捉えて表す創造活動に、主体的に取り組む。</p>	<p>(6) 『学校の風景』</p> <p>・教科書・制作ノート・ケントボード・アクリル絵の具・筆記用具</p> <p>・端末利用 風景画と遠近法のリサーチ</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <p>「知」 風景の中の空間、形や色彩の効果、造形的な特徴などを基に、遠近法を理解する。「技」 意図に応じて絵の具などの特性を生かし、表現方法を工夫し、主題を追求して創造的に表している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>「発」 風景を観察し、五感で感じ取ったことなどから主題を生成し、形や色、構図などの効果を考え、創造的な表現の構想を練っている。「鑑」 学校の風景を描く表現の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、風景画の見方や感じ方を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>「態表」「態鑑」 美術や美術文化と豊かに関わり、学校の風景描写による表現と鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10
	<p>(6) 『アニメーションの原理について』 アニメーションの原理と美術表現の関係性について学び、フェナキストスコープを自主制作する。</p> <p>【知識及び技能に関する目標】 アニメーションの仕組みや多様な技法と効果的な制作工程の意味を捉え、アニメーションの特性を生かして創造的に表す。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等に関する目標】 アニメーションの特性を生かしたストーリーを自由に発想し、創造的な表現を追求して「動き」の特性や視覚効果を生かし、主体的に主題を生成して内容に応じた素材や技法を吟味し、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 目的に合わせて効果的な表現を主体的に追求して完成度を向上させ、日常生活から動きの特徴を考察して創意工夫して制作する中で、見方や感じ方を深める創造活動に取り組もうとする。</p>	<p>(6) 『アニメーションの原理について』</p> <p>・教科書・制作ノート・厚紙・彩色ペン・筆記用具</p> <p>・端末利用 アニメーションの歴史および種類についてのリサーチ</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <p>「知」 造形的な特徴などを基に、アニメーションの仕組みや多様な技法と効果的な制作工程を理解している。「技」 アニメーション技術を習得し、意図に応じて表現方法を創意工夫している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>「発」 アニメーションの特性を生かしたストーリーを構想し、自由な発想や構成などから主体的に主題を生成し表現の構想を練っている。「鑑」 「動き」の特性や視覚効果を理解してアニメーション表現のよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>「態表」 日常生活から動きの特徴を考察し、主体的に表現している。「態鑑」 目的に合わせて効果的な表現を主体的に追求して完成度を向上させ、よさや美しさを感じ取って見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10
	<p>(7) 『ポスター制作』 参考作品の鑑賞を通じて、身近な広告がどのような目的でつくられているかを理解し、学校の紹介などを目的とするポスターを制作する。</p> <p>【知識及び技能に関する目標】 イラストや写真、文字の形や色、構成などの効果、伝達したいイメージなどを捉え、絵の具などの特性を生かし、計画を基に表す。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等に関する目標】 伝えたいメッセージや伝える場面などを基に、形や色彩、写真やイラスト、文字などによる伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 伝えたい内容を効果的にポスターに表す創造活動に、主体的に取り組む。</p>	<p>(7) 『ポスター制作』</p> <p>・教科書・制作ノート・ケントボード・アクリル絵の具・筆記用具</p> <p>・端末利用 ポスターの歴史および種類についてのリサーチ</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <p>「知」 イラストや写真、文字の形や色、構成などが感情にもたらす効果や、伝達したいことや場面を、全体のイメージで捉えることを理解している。「技」 意図に応じて表現方法を工夫し、描画技法に工夫をもち、計画的に見直しをもって表している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>「発」 伝えたいメッセージや場面などを基に主題を生成し、形や色彩、写真やイラスト、文字などによる伝達効果を考え、構想を練っている。「鑑」 ポスターのよさや美しさを感じ取り、作者の意図と表現の工夫、効果などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>「態表」 伝えたいメッセージや場面などを効果的にポスターに表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。「態鑑」 ポスターのよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅠ 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ H 組

使用教科書： （ 「LANDMARK English Communication Ⅰ」 ）

教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を行い、知識及び技能、思考力、判断力、表現力等を一体的に育成する。		中学校におけるコミュニケーション能力の基礎を養うための総合的な指導を踏まえ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話〔や り〕	話〔発 表〕	書					
単元 Lesson 1 〈聞くこと〉 高校生活における目標についての会話を聞いて、必要な情報を聞き取り理解する。 〈読むこと〉 高校生活における目標についての文章を通して不定詞、動名詞の意味や構造を理解する。また文章の要点を捉える。 〈話すこと〔やり取り〕〉 高校生活における目標についての英文を読み、読んだことを基に自分の目標について伝え合うやり取りを続ける。 〈話すこと〔発表〕〉 コンクールの申込書の英文を読み、読んだことを基にしながら自分が挑戦したいことについて話して伝える。 〈書くこと〉 自分の高校生活における目標について、自分の考えを書いて伝える。	・指導事項 不定詞、動名詞の意味や構造、また、新生活での新たな目標の見つけ方について理解を深める。 ・教材 「LANDMARK English Communication Ⅰ」 ・一人1台端末の活用 等 課題提出、発表	○	○	○	○	○					10
単元 Lesson 2 〈聞くこと〉 カレーについての説明や会話を聞き、必要な情報を聞き取り、要点を捉える。 〈読むこと〉 カレーについての文章を通して分詞の後置修飾、現在完了形の意味や構造を理解する。またカレーの歴史や発展についてなど、文章の要点を捉える。 〈話すこと〔やり取り〕〉 カレー料理の好みについて、自分の考えを伝え合うやり取りを続ける。 〈話すこと〔発表〕〉 自分のカレー料理の好みについて、話して伝える。 〈書くこと〉 自分の好きな食べ物の食材や調理方法等の情報について、書いて伝える。	・指導事項 分詞の後置修飾、現在完了の意味や構造、また、はるかなるカレーの旅について理解を深める。 ・教材 「LANDMARK English Communication Ⅰ」 ・一人1台端末の活用 等 課題提出、発表	○	○	○	○	○					10
1 学期 定期考査							○	○			1

期	<p>単元 Lesson 3 (聞くこと)学校の制服についての会話を聞き、必要な情報を聞き取り、要点を捉える。 (読むこと)学校の制服についての文章を通して受動態の意味や構造を理解する。また制服についてのさまざまな意見の要点を把握する。 (話すこと [やり取り])学校の制服着用について賛成か反対か、自分の意見を伝え合うやり取りを続ける。 (話すこと [発表])学校の制服着用について、自分の考えを話して伝える。 (書くこと)自分の学校を紹介するために学期や学校行事等の情報について、書いて伝える。</p>	<p>・指導事項 受動態の意味や構造、また、世界の制服事情について理解を深める。 ・教材 「LANDMARK English Communication I」 ・一人1台端末の活用 等 課題提出、発表</p>	○	○	○	○	○	<p>(1) 聞くこと 学校制服について、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができる。 (2) 読むこと 学校制服について、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができる。 (3) 話すこと [やり取り] 学校での制服の着用について、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、賛成、反対の立場から情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うやり取りを続けることができる。 (4) 話すこと [発表] 学校での制服の着用について、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、賛成、反対の立場から情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 (5) 書くこと 自分の学校の学期と行事について、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や自分の考えを論理性に注意しながら書いて伝えることができる。</p>	○	○	10
	<p>単元 Lesson 4 (聞くこと)世界遺産についての会話から必要な情報を聞き取り、要点を捉える。 (読むこと)屋久島についての文章を通して受動態や関係副詞の意味や構造を理解する。また屋久島のエコツアーや環境保全について、要点を把握する。 (話すこと [やり取り])自分が訪ねてみたい世界遺産について、自分の考えを伝え合うやり取りを続ける。 (話すこと [発表])リーフレットから必要な情報を理解して、自分が参加したいエコツアーについて話して伝える。 (書くこと)外国人観光客におすすめの日本の世界遺産を紹介するために必要な情報を、書いて伝える。</p>	<p>・指導事項 受動態や関係副詞の意味や構造、また、屋久島エコツアーを体験について理解を深める。 ・教材 「LANDMARK English Communication I」 ・一人1台端末の活用 等 課題提出、発表</p>	○	○	○	○	○	<p>【(1) 聞くこと 屋久島のエコツアーについて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができる。 (2) 読むこと 屋久島のエコツアーについて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができる。 (3) 話すこと [やり取り] 自分が参加してみたいエコツアーについて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができる。 (4) 話すこと [発表] 自分が参加してみたいエコツアーについて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 (5) 書くこと 日本の世界遺産について、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して書いて伝えることができる。</p>	○	○	10
定期考査									○	○	1
	<p>単元 Lesson 5 <聞くこと>身近な動物についての会話から必要な情報を聞き取り、話の要点を捉える。 (読むこと)ファシリティドッグについての文章を通して過去完了形、不定詞と原形不定詞、不定詞の意味上の主語の意味や構造を理解する。またファシリティドッグについて必要な情報を読み取り、要点を把握する。 (話すこと [やり取り])ペットを飼うことについて、自分の考えを伝え合うやり取りを続ける。 (話すこと [発表])高校生活で行うべき重要なことについて、自分の考えや気持ちなどを話して伝える。 (書くこと)自分が住む街の病院にファシリティドッグ導入の提案するために、導入の利点や自分の考えを書いて伝える。</p>	<p>・指導事項 過去完了形、不定詞と原形不定詞、不定詞の意味上の主語の意味や構造、また、身近な動物について理解を深める。 ・教材 「LANDMARK English Communication I」 ・一人1台端末の活用 等 課題提出、発表</p>	○	○	○	○	○	<p>(1) 聞くこと ファシリティドッグについて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができる。 (2) 読むこと ファシリティドッグについて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができる。 (3) 話すこと [やり取り] ペットを飼うことについて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができる。 (4) 話すこと [発表] ペットを飼うことについて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 (5) 書くこと 病院へのファシリティドッグ導入について、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して書いて伝えることができる。</p>	○	○	10

<p>単元 Lesson 6 (聞くこと) 非言語コミュニケーションについての会話から必要な情報を聞き取り、要点を把握する。 (読むこと) 非言語コミュニケーションについての文書を通して対比や難易、繰り返しを避ける表現や、分詞構文の意味や構造を理解する。また非言語コミュニケーションについて必要な情報を読み取り、概要を把握する。 (話すこと [やり取り]) 日常で使用するジェスチャーと使用する理由について、自分の考えを伝え合うやり取りを続ける。 (話すこと [発表]) 普段身につけるものの色とその色が与える影響について、話して伝える。 (書くこと) 色が人に与える影響についての情報を読んだ後に、その情報を活用しながら、Tシャツに使用する色についての提案を書いて伝える。</p>	<p>・指導事項 分詞構文の意味や構造、また、非言語コミュニケーションについて理解を深める。 ・教材 「LANDMARK English Communication I」 ・一人1台端末の活用 等 課題提出、発表</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>(1) 聞くこと 非言語コミュニケーションについて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができる。 (2) 読むこと 非言語コミュニケーションについて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができる。 (3) 話すこと [やり取り] 日常で使用する非言語コミュニケーションについて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができる。 (4) 話すこと [発表] 日常で使用する非言語コミュニケーションについて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 (5) 書くこと 非言語コミュニケーションや色が人に与える影響について、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して書いて伝えることができる。</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>10</p>
<p>定期考査</p>																<p>1</p>
<p>単元 Lesson 7 (聞くこと) 情報の入手方法についての会話から必要な情報を聞き取り、それぞれの話し手の意図を把握する。 (読むこと) バナの平和への思いや、SNSを用いた活動についての文章を通して、関係代名詞の非限定用法、関係副詞の非限定用法の意味や構造を理解する。また文章を読み、バナの話について概要を捉える。 (話すこと [やり取り]) 情報の入手手段としてインターネットを使うことについて賛成か反対か、自分の意見を伝え合うやり取りを続ける。 (話すこと [発表]) バナを励ますためにどのようなメッセージを送るか、自分の考えや気持ちを話して伝える。 (書くこと) 社会問題を解決するためにどのようにSNSを活用するか、自分の考えを書いて伝える。</p>	<p>・指導事項 関係代名詞の非限定用法、関係副詞の非限定用法の意味や構造、また、バナの平和について理解を深める。 ・教材 「LANDMARK English Communication I」 ・一人1台端末の活用 等 課題提出、発表</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>(1) 聞くこと バナが世界に発信したメッセージについて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができる。 (2) 読むこと 平和とSNSの在り方について、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができる。 (3) 話すこと [やり取り] バナへ送る励ましのメッセージについて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができる。 (4) 話すこと [発表] バナへ送る励ましのメッセージについて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 (5) 書くこと ソーシャルメディアを活用した社会問題の解決について、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して書いて伝えることができる。</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>10</p>
<p>単元 Lesson 8 (聞くこと) 将来の職業選択についての会話を聞いて必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する。 (読むこと) 職業選択や社会起業家についての文章を読み、部分否定や知覚動詞を使用した表現、目的を表す表現の意味と構造を理解する。また文章を読み、社会起業家について情報を読み取り、要点を把握する。 (話すこと [やり取り]) 将来どのような社会問題を解決したいか、また自分のキャリアプランについて、自分の考えを相手に伝え合うやり取りを続ける。 (話すこと [発表]) 自分のキャリアプランについて、自分の考えや気持ちを話して伝える。 (書くこと) 自分のキャリアプランについて、自分の考えや気持ちを書いて伝える。</p>	<p>・指導事項 部分否定や知覚動詞を使用した表現、目的を表す表現の意味と構造、また、職業選択や社会起業家について理解を深める。 ・教材 「LANDMARK English Communication I」 ・一人1台端末の活用 等 課題提出、発表</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>(1) 聞くこと 将来の職業と解決したい問題について、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができる。 (2) 読むこと 社会起業家とその活動について、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができる。 (3) 話すこと [やり取り] 将来自分がなりたい職業について、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができる。 (4) 話すこと [発表] 将来自分がなりたい職業について、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 (5) 書くこと 将来自分がなりたい職業について、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して書いて伝えることができる。</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>10</p>
<p>定期考査</p>																<p>1</p>

<p>単元 Lesson 9 <聞くこと> 宇宙エレベーターで宇宙に行けるとしたらしてみたいことについて話している会話から、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する。 (読むこと) 宇宙エレベーターについての文章を読み、仮定法過去や倍数表現の意味や構造を理解する。また必要な情報を読み取り、概要を把握する。 (話すこと [やり取り]) 宇宙に関する自分の関心のある事柄について、考えや気持ちを伝え合うやり取りを続ける。 (話すこと [発表]) 宇宙エレベーターで宇宙に行けるとしたらどんなことをしたいか、考えを話して伝える。 (書くこと) JAXAにこれから取り組んで欲しい宇宙探査についてのeメールを書いて、自分の考えを書いて伝える。</p>	<p>・指導事項 仮定法過去や倍数表現の意味や構造、また、宇宙エレベーターについて理解を深める。 ・教材 「LANDMARK English Communication I」 ・一人1台端末の活用 等 課題提出、発表</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>(1) 聞くこと 宇宙エレベーターについて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができる。 (2) 読むこと 宇宙エレベーターについて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができる。 (3) 話すこと [やり取り] 宇宙エレベーターで宇宙に行くことができたらしめてみたいことについて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができる。 (4) 話すこと [発表] 宇宙エレベーターで宇宙に行くことができたらしめてみたいことについて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 (5) 書くこと JAXAに要望したい宇宙探査について、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して書いて伝えることができる。</p>	<p>○ ○ ○ ○</p>	<p>10</p>
<p>単元 Lesson 10 (聞くこと) 高校にやってくる留学生についての会話を聞いて、必要な情報を聞き取り、要点を把握する。 (読むこと) 日本とトルコの友好関係についての文章を読み、仮定法過去完了の意味や構造を理解する。また必要な情報を読み取り、話の概要を捉える。 (話すこと [やり取り]) 外国に住む友人との交流について、自分の考えを伝え合うやり取りを続ける。 (話すこと [発表]) 自分が住んでいる街を海外の姉妹都市に住んでいる人たちに紹介するためのイベントを企画し、そのイベントについての情報を話して伝える。 (書くこと) 当時の大島の住人になったと仮定して、自分だったらエルトゥール号の乗組員のためにどのようなことをしたか、自分の考えを書いて伝える。</p>	<p>・指導事項 仮定法過去完了の意味や構造、また、日本とトルコの友好関係について理解を深める。 ・教材 「LANDMARK English Communication I」 ・一人1台端末の活用 等 課題提出、発表</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>(1) 聞くこと 日本とトルコの時を超えた友情について、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができる。 (2) 読むこと 日本とトルコの時を超えた友情について、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができる。 (3) 話すこと [やり取り] 自分が住んでいる街を紹介するイベントについて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができる。 (4) 話すこと [発表] 自分が住んでいる街を紹介するイベントについて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 (5) 書くこと 当時のエルトゥール号について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して書いて伝えることができる。</p>	<p>○ ○ ○ ○</p>	<p>10</p>
<p>定期考査</p>				<p>○ ○</p>	<p>1</p>
					<p>合計</p>
					<p>105</p>

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現I

教科： 外国語 科目： 論理・表現I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ H 組

使用教科書： (be English Logic and Expression I Clear)

教科 外国語

の目標：

【知識及び技能】

外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解する。外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】

場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝えたりする。聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現する。

【学びに向かう力、人間性等】

他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

科目 論理・表現I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成するとともに、論理の構成や展開を考察することで、情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝える能力を養う。		習得した発信能力を活かし、積極的に論理的に伝えようとする態度を育成する。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）	書					
A 単元 Lesson 1 【知識及び技能】 自分のことや、今自分がしていることについて、動詞の現在形や現在進行形などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分のことや、今自分がしていることについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分のことや、今自分がしていることについて、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	・指導事項 ・現在形や現在進行形を正しく用いて表現する。 ・自分や身近な人のことについて話したり書いたりする。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする。 ・教材 「be English Logic and Expression I Clear」 「be English Logic and Expression I Clear Grammar Book」 「be English Logic and Expression I Clear My English Portfolio」 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○		○	○	○	5
B 単元 Lesson 2 【知識及び技能】 週末の出来事について、動詞の過去形や過去進行形などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 週末の出来事について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 週末の出来事について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	・指導事項 ・過去形や過去進行形を正しく用いて表現することができる。 ・休日・週末にしたことについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。 ・教材 「be English Logic and Expression I Clear」 「be English Logic and Expression I Clear Grammar Book」 「be English Logic and Expression I Clear My English Portfolio」 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○		○	○	○	5
定期考査								○	○		1
C 単元 Lesson 3 【知識及び技能】 休日の予定について、未来の表現などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 休日の予定について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 休日の予定について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	・指導事項 ・未来の表現を正しく用いて表現することができる。 ・予定について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。 ・教材 「be English Logic and Expression I Clear」 「be English Logic and Expression I Clear Grammar Book」 「be English Logic and Expression I Clear My English Portfolio」 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○		○	○	○	5

1
学
期

<p>D 単元 Lesson 4</p> <p>【知識及び技能】 旅行先について、動詞の現在完了形などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 旅行先について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 旅行先について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している</p>	<p>・指導事項 ・現在完了形を正しく用いて表現することができる。</p> <p>・旅行のことに話したり書いたりすることができる。</p> <p>・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。</p> <p>・教材 「be English Logic and Expression I Clear」 「be English Logic and Expression I Clear Grammar Book」 「be English Logic and Expression I Clear My English Portfolio」 ・一人1台端末の活用</p>	○	○	○	○	○	<p>【題材】 旅行</p> <p>【題材に関するタスク】 ・旅行に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。</p> <p>・旅行に関する文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。</p> <p>【文法】 ・現在完了形・現在完了進行形について学んで理解する。</p> <p>・現在完了形・現在完了進行形を用いて文を作る。</p> <p>【言語の機能】 ・「話を切り出す」表現を含む対話を理解し、展開する。</p> <p>・「話を切り出す」表現を用いて文を作る。</p>	○	○	○	6
<p>E 単元 Lesson 5</p> <p>【知識及び技能】 達成した事柄について、動詞の過去完了形などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 達成した事柄について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 達成した事柄について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している</p>	<p>・指導事項 ・過去完了形を正しく用いて表現することができる。</p> <p>・学習・課外活動について話したり書いたりすることができる。</p> <p>・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。</p> <p>・教材 「be English Logic and Expression I Clear」 「be English Logic and Expression I Clear Grammar Book」 「be English Logic and Expression I Clear My English Portfolio」 ・一人1台端末の活用</p>	○	○	○	○	○	<p>【題材】 学習・課外活動</p> <p>【題材に関するタスク】 ・学習・課外活動に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。</p> <p>・学習・課外活動に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。</p> <p>【文法】 ・過去完了形・過去完了進行形・未来完了形について学んで理解する。</p> <p>・過去完了形・過去完了進行形・未来完了形を用いて文を作る。</p> <p>【言語の機能】 ・「同意を求める」表現を含む対話を理解し、展開する。</p> <p>・「同意を求める」表現を用いて文を作る。</p>	○	○	○	8
<p>定期考査</p>								○	○		1
<p>F 単元 Lesson 6</p> <p>【知識及び技能】 許可を求めることについて、可能や許可などを表す助動詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 許可を求めることについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 許可を求めることについて、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している</p>	<p>・指導事項 ・可能や許可などを表す助動詞を正しく用いて表現することができる。</p> <p>・食文化について話したり書いたりすることができる。</p> <p>・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。</p> <p>・教材 「be English Logic and Expression I Clear」 「be English Logic and Expression I Clear Grammar Book」 「be English Logic and Expression I Clear My English Portfolio」 ・一人1台端末の活用</p>	○	○	○	○	○	<p>【題材】 食文化</p> <p>【題材に関するタスク】 ・食文化に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。</p> <p>・食文化に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。</p> <p>【文法】 ・能力・可能・推量・許可を表す助動詞を学んで理解する。</p> <p>・能力・可能・推量・許可を表す助動詞を用いて文を作る。</p> <p>【言語の機能】 ・「お礼を言う」表現を含む対話を理解し、展開する。</p> <p>・「お礼を言う」表現を用いて文を作る。</p>	○	○	○	5
<p>G 単元 Lesson 7</p> <p>【知識及び技能】 行くことになっている場所について、義務や確信などを表す助動詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 行くことになっている場所について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 行くことになっている場所について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している</p>	<p>・指導事項 ・義務や確信などを表す助動詞を正しく用いて表現することができる。</p> <p>・学校生活について話したり書いたりすることができる。</p> <p>・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。</p> <p>・教材 「be English Logic and Expression I Clear」 「be English Logic and Expression I Clear Grammar Book」 「be English Logic and Expression I Clear My English Portfolio」 ・一人1台端末の活用</p>	○	○	○	○	○	<p>【題材】 学校生活</p> <p>【題材に関するタスク】 ・学校生活に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。</p> <p>・学校生活に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。</p> <p>【文法】 ・義務・確信・推測・後悔を表す助動詞を学んで理解する。</p> <p>・義務・確信・推測・後悔を表す助動詞を用いて文を作る。</p> <p>【言語の機能】 ・「理由をたずねる」表現を含む対話を理解し、展開する。</p> <p>・「理由をたずねる」表現を用いて文を作る</p>	○	○	○	8
<p>定期考査</p>								○	○		1
<p>H 単元 Lesson 8</p> <p>【知識及び技能】 友だちを誘いたいイベントについて、意志や推量などを表す助動詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 友だちを誘いたいイベントについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 友だちを誘いたいイベントについて、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している</p>	<p>・指導事項 ・意志や推量などを表す助動詞を正しく用いて表現することができる。</p> <p>・日常生活について話したり書いたりすることができる。</p> <p>・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。</p> <p>・教材 「be English Logic and Expression I Clear」 「be English Logic and Expression I Clear Grammar Book」 「be English Logic and Expression I Clear My English Portfolio」 ・一人1台端末の活用</p>	○	○	○	○	○	<p>【題材】 日常生活</p> <p>【題材に関するタスク】 ・日常生活に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。</p> <p>・日常生活に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。</p> <p>【文法】 ・意志・推量・依頼を表す助動詞を学んで理解する。</p> <p>・意志・推量・依頼を表す助動詞を用いて文を作る。</p> <p>【言語の機能】 ・「依頼を受け入れる・断る」表現を含む対話を理解し、展開する。</p> <p>・「依頼を受け入れる・断る」表現を用いて文を作る。</p>	○	○	○	5

<p>I 単元 Lesson 9</p> <p>【知識及び技能】 交通上の安全について、受動態などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 交通上の安全について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 交通上の安全について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している</p>	<p>・指導事項</p> <p>・受動態を正しく用いて表現することができる。</p> <p>・交通機関の問題について話したり書いたりすることができる。</p> <p>・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。</p> <p>・教材 「be English Logic and Expression I Clear」 「be English Logic and Expression I Clear Grammar Book」 「be English Logic and Expression I Clear My English Portfolio」 ・一人1台端末の活用</p>	○	○	○	○	○	<p>【題材】 交通問題</p> <p>【題材に関するタスク】 ・交通問題に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・交通問題に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。</p> <p>【文法】 ・受動態について学んで理解する。 ・受動態を用いて文を作る。</p> <p>【言語の機能】 ・「話しかける」表現を含む対話を理解し、展開する。 ・「話しかける」表現を用いて文を作る。</p>	○	○	○	5
<p>J 単元 Lesson 10</p> <p>【知識及び技能】 将来の夢について、不定詞の名詞用法などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 将来の夢について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 将来の夢について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している</p>	<p>・指導事項</p> <p>・不定詞の名詞用法を正しく用いて表現することができる。</p> <p>・将来したい活動について話したり書いたりすることができる。</p> <p>・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。</p> <p>・教材 「be English Logic and Expression I Clear」 「be English Logic and Expression I Clear Grammar Book」 「be English Logic and Expression I Clear My English Portfolio」 ・一人1台端末の活用</p>	○	○	○	○	○	<p>【題材】 将来の活動</p> <p>【題材に関するタスク】 ・将来の夢や目標に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・将来の夢や目標に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。</p> <p>【文法】 ・不定詞の名詞用法について学んで理解する。 ・不定詞の名詞用法を用いて文を作る。</p> <p>【言語の機能】 ・「励ます」表現を含む対話を理解し、展開する。 ・「励ます」表現を用いて文を作る。</p>	○	○	○	8
<p>定期考査</p>								○	○		1
<p>K 単元 Lesson 11</p> <p>【知識及び技能】【思 具合が悪くなった友だちへのアドバイスについて、不定詞の形容詞用法などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 具合が悪くなった友だちへのアドバイスについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 具合が悪くなった友だちへのアドバイスについて、自ら進んで筋道を立てて伝え、合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している</p>	<p>・指導事項</p> <p>・不定詞の形容詞用法を正しく用いて表現することができる。</p> <p>・健康について話したり書いたりすることができる。</p> <p>・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。</p> <p>・教材 「be English Logic and Expression I Clear」 「be English Logic and Expression I Clear Grammar Book」 「be English Logic and Expression I Clear My English Portfolio」 ・一人1台端末の活用</p>	○	○	○	○	○	<p>【題材】 健康</p> <p>【題材に関するタスク】 ・健康に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・健康に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。</p> <p>【文法】 ・不定詞の形容詞・副詞用法について学んで理解する。 ・不定詞の形容詞・副詞用法を用いて文を作る。</p> <p>【言語の機能】 ・「具合をたずねる」表現を含む対話を理解し、展開する。 ・「具合をたずねる」表現を用いて文を作る</p>	○	○	○	5
<p>3 学 期</p> <p>L 単元 Lesson 12</p> <p>【知識及び技能】 電化製品を買いに行くことについて、使役動詞・知覚動詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 電化製品を買いに行くことについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 電化製品を買いに行くことについて、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している</p>	<p>・指導事項</p> <p>・使役動詞・知覚動詞などを正しく用いて表現することができる。</p> <p>・新しい製品について話したり書いたりすることができる。</p> <p>・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。</p> <p>・教材 「be English Logic and Expression I Clear」 「be English Logic and Expression I Clear Grammar Book」 「be English Logic and Expression I Clear My English Portfolio」 ・一人1台端末の活用</p>	○	○	○	○	○	<p>【題材】 新しい製品</p> <p>【題材に関するタスク】 ・新しい製品に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・新しい製品に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。</p> <p>【文法】 ・使役的な意味で使う不定詞・原形不定詞・不定詞（進行形・受動態・完了形）について学んで理解する。 ・使役的な意味で使う不定詞・原形不定詞・不定詞（進行形・受動態・完了形）を用いて文を作る。</p> <p>【言語の機能】 ・「勧誘する」表現を含む対話を理解し、展開する。 ・「勧誘する」表現を用いて文を作る。</p>	○	○	○	5
<p>定期考査</p>								○	○		1
<p>合計</p>											70

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 情報 科目 情報 I

教科： 情報 科目： 情報 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ H 組

使用教科書： （ 「最新情報 I」 実教出版 ）

教科 情報の目標：

【知識及び技能】 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報 I の目標： 情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	オリエンテーション	・ C A L L 教室の使い方を理解する。 ・ 授業の進め方、評価方法を理解する。 ・ コンピュータの起動や終了の方法を理解する。	・ コンピュータ教室のルールを理解している。 ・ コンピュータを起動し、目的とするアプリケーションを開くことができ、正しい手順で終了することができる。	○			1
	単元 「情報社会」 【知識及び技能】 データ、情報、知識の意味と相互の関係について理解することができる。 簡単なデータの入力ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報社会の現状と特性について理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】	・ 指導事項 情報社会の解説、授業ノートの完成指導、キーボード入力の方法 ・ 教材 教科書、授業ノートプリント ・ 一人1台端末の活用 等 C A L L 教室でのネットワーク接続の端末利用	【知識・技能】 情報社会とその特性について説明することができる。適切な手段を選択しデータ入力ができる。 【思考・判断・表現】 情報社会での活用例を挙げることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 追加課題に取り組んでいる。	○	○	○	5
	単元 「情報モラルと個人への影響」 【知識及び技能】 ソーシャルメディア利用時のモラルとその影響について理解できる。 長文が支障なく作成できる。 【思考力、判断力、表現力等】 SNSの活用など、不特定多数を対象としたコミュニケーションの注意点及び影響についてあげることができる。 【学びに向かう力、人間性等】	・ 指導事項 情報モラルの解説、授業ノートの完成指導、キーボード入力の練習 ・ 教材 教科書、授業ノートプリント ・ 一人1台端末の活用 等 C A L L 教室でのネットワーク接続の端末利用	【知識・技能】 ソーシャルメディア利用時の情報モラルとその影響について説明することができる。適切な手段を選択し文書入力ができる。 【思考・判断・表現】 モラルとマナーについて説明でき、実例を挙げることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 追加課題に取り組んでいる。	○	○	○	6
	単元 「情報社会の法規と権利」 【知識及び技能】 知的財産、著作物について理解できる。 個人情報とプライバシーについて理解できる。 通信文がルールに基づき作成できる。 【思考力、判断力、表現力等】 知的財産、著作権を保護する意味合いを説明できる。 個人情報を保護する意義について説明できる。	・ 指導事項 知的財産、著作物、個人情報、プライバシーの解説、授業ノートの完成指導、キーボード入力の練習 ・ 教材 教科書、授業ノートプリント ・ 一人1台端末の活用 等 C A L L 教室でのネットワーク接続の端末利用	【知識・技能】 知的財産の概念について説明できる。 知的財産権や著作権についての法律をあげることができる。 ルールに則った通信文が作成できる。 【思考・判断・表現】 知的財産権が産業や文化の発展に与えている影響について説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 追加課題に取り組んでいる。	○	○	○	8
	単元 「メディアとデザイン」 【知識及び技能】 メディアの機能やその分類について理解することができる。 メディアの発達について理解することができる。 様々なオブジェクトを取り入れた文章や通信文が作成できる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報に応じて適切に表現メディアや情報メディアを選択して表現することができる。	・ 指導事項 メディアとデザインの解説、授業ノートの完成指導 ・ 教材 教科書、授業ノートプリント ・ 一人1台端末の活用 等 C A L L 教室でのネットワーク接続の端末利用	【知識・技能】 メディアの機能について説明することができる。さまざまなメディアを分類することができる。メディアの発達について説明することができる。他のメディアを適切に使用した文書が作成できる。 【思考・判断・表現】 情報の信憑性や信頼性について吟味し、情報の真意を読み解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 追加課題に取り組んでいる。	○	○	○	8
	実技試験						
定期考査							1

